

FS天井点検口

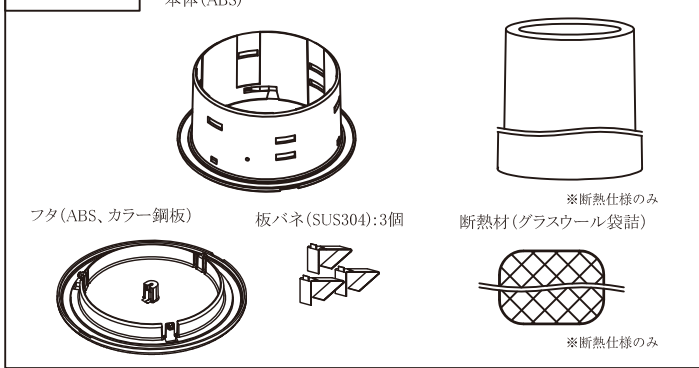
施工説明書（標準仕様・断熱仕様兼用）

下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

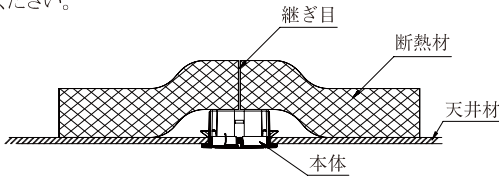
■施工の前に【注意】

- 本製品を火気、温風が当たる付近では使用しないでください。
- 本製品の取り付け場所に木下地や配線ケーブルなどがないことを確認してください。
- 本製品を直射日光のあたる場所で保管しないでください。

部品姿図

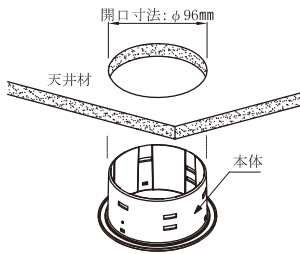


- 板バネを天井材に引っ掛けて固定するため、居室側の天井材の厚みは9.5～33mmの範囲としてください。
- FS天井点検口の取付け位置の近傍に天井断熱材の継ぎ目がくるように断熱材を施工してください。



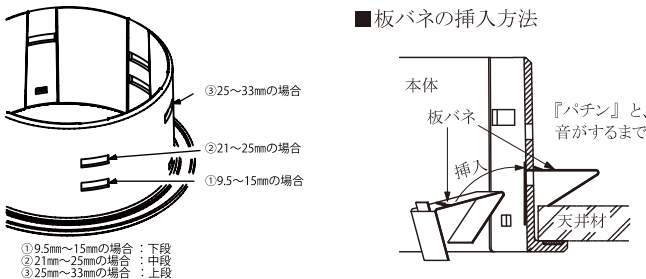
■施工

1. 天井材にφ96mmの開口をあけてください。
事前に下地チェッカー等を用いて、取付け位置を確認してください。
2. 天井の開口部に本体を挿入してください。
3. 天井材の厚みに対応した本体スリットの内側から板バネ(3ヶ所)を『パチン』と音がするまで挿入して、天井材を挟み込み、本体を取り付けてください。
※本体と天井面に隙間がないことを確認してください。

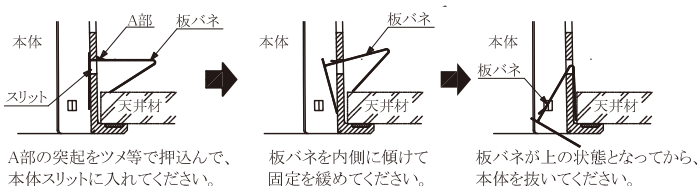


■天井材の厚さと本体スリットの板バネの挿入位置

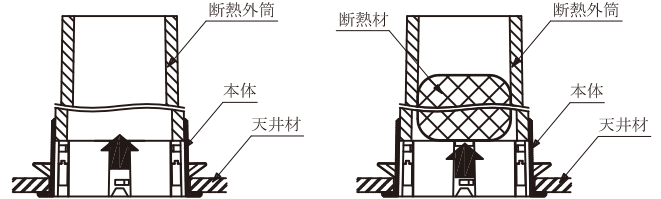
■板バネの挿入方法



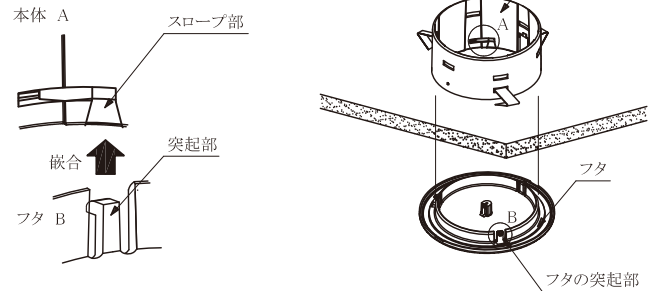
※本体の外し方は、下図のように板バネ(3ヶ所)を緩めて、本体を抜いてください。



4. 断熱仕様の場合、本体内側に断熱外筒を挿入してから、断熱材を断熱外筒に挿入してください。

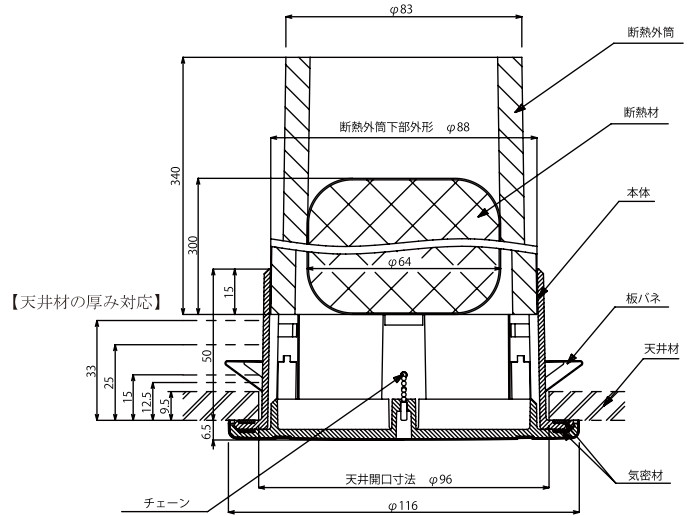


5. 本体にフタを『パチン』と嵌めてください。



※フタの嵌合位置は、上記のように本体のスロープ部にフタの突起部を挿し込みながら、時計回りに回し、『パチン』と嵌めてください。
※嵌合後、本体とフタに隙間がないこと、外れないことを確認してください。
※フタを嵌める際、チェーンを巻き込まないよう嵌めてください。

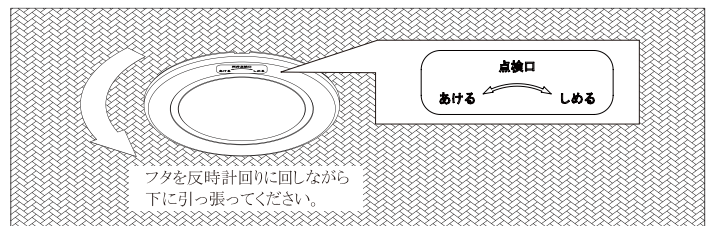
■FS天井点検口 納まり図(断熱仕様)



■フタの取り外し方法

フタを反時計回りに回し、下方向に引っ張ってください。
※外しにくい場合には、フタのドライバー挿し込み部(凹み部)にドライバーを挿し込みながら、フタを外してください。

※点検後、断熱材を元の位置に戻してから、本体にフタを嵌めてください。
フタの嵌め方は上記施工5.を参照してください。



本社 / 福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

北海道 ☎(011)896-7500
東関東 ☎(029)841-7611
千葉 ☎(043)247-3651
新潟 ☎(025)241-7832
京都 ☎(075)662-2315
高松 ☎(087)822-2301
沖縄 ☎090-1943-2112

盛岡 ☎(019)654-7511
宇都宮 ☎(028)636-3521
西東京 ☎(042)529-3911
北陸 ☎(0776)38-8010
岡山 ☎(086)232-0601
福岡 ☎(092)471-5800

仙台 ☎(022)287-3471
北関東 ☎(048)661-0400
神奈川 ☎(045)470-1050
静岡 ☎(054)288-3600
広島 ☎(082)246-7211
鹿児島 ☎(099)259-0220